



■ 検定委員  
石山 真実  
(いしやま まさみ)

株式会社 日本能率協会コンサルティング  
経営コンサルティングカンパニー  
プロセス・デザインセンター  
シニア・コンサルタント

工場の総合コストダウンを主軸に、自動車、自動車部品、電機、化粧品、医薬、化学、食品など数多くの業種で成果をあげてきた。近年では、営業・開発・生産一体体制での売上増活動も展開。あわせて、次期幹部の事業家能力醸成、次期社長体制の確立支援を展開し、好評を得ている。

また現場診断(生産性向上・原価低減の可能性診断)についての、プログラム開発や実施経験も豊富。

人材教育では、「生産革新コース(IE士認定)」や「生産技術者コース(CPE認定)」の講師として、その実践的な内容は好評を得ている。「生産マイスター」の通信教育テキストやスクリーニング開発も実施。

### (3) 生産マイスター検定 3 級、ベーシック級のねらい

～ 現場（リーダー、担当者）に期待するもの ～

#### ● 3 級およびベーシック級がめざすもの

生産マイスター検定 3 級およびベーシック級は、担当者クラスからリーダークラスの皆さんを対象としたものです。このクラスの皆さんは、実はモノづくりにおいて最も重要な役割を持っていると私は思っています。なぜなら、顧客が手にするものを、最終的に形にする責任を持っているメンバーだからです。つまり、どんなによい商品を開発しても、どんなに営業メンバーが優秀であっても、皆さんがよいものを完成させなければ、企業として意味を成さないことになるのです。

皆さんはこのような最も重要な役割を持って、毎日生産活動をされているわけですが、そのような意識をお持ちでしょうか？そして、そのためには何をすべきか、日々考えておられるでしょうか？おそらく、受検者の皆さんは高い意識をお持ちであり、何をすべきかも日々考えておられることと思います。しかし、反面、具体的に何をしていけばよいのか迷ってしまうことも多いのではないのでしょうか？

ものづくりをうまくやるには、あるいは皆さんが責任を十分に果たすには、原理原則というものがあります。うすうす皆さんが気づかれておられると思いますが、この原理原則を皆さんが共通認識をして、皆で協力しあって実行していけば、本当に強い現場になっていくことができるはずです。

その共通認識である生産マイスター検定は、皆さんのクラスに必要な原理原則を「役割」、「コスト」、「品質」、「納期・生産管理」、「安全・環境」にわけて、それぞれ学べるように構成されています。ぜひ、皆さんがこれらを十分理解し実践していくことで、より強い現場をつくっていかれることを、検定委員として願っています。

#### ● ものづくり人材の‘最先端’として期待されること

実際に皆さんに最も期待されていることは、3つあります。

1. 決められたことを絶対に守る
2. よりよい決め事を生み出す
3. これらを自分だけでなく、仲間と一緒に進める

##### 1. 決められたことを絶対に守る

皆さんが生産しているものは、すべて、顧客に気に入ってもらい購入していただくものです。そのため、

(あるいは競合品に負けないために)、その製品の品質や原価、そして納期が決められているはずですが。ご存知のとおり、これらを確実に達成するために、決められた作業方法を絶対に守る必要があるのです。そのため、「私はこのやり方がやりやすい」とか「まだ不慣れだから決められたとおりにできない」ということは、顧客に気に入ってもらい購入していただくものを確実につくるうえで大変まずいことなのです。また、皆さんの身の安全を守るためのルールもいろいろと決められていますが、毎日、安全に元気よく仕事をするためにこれらのルールを守ることも重要なのです。「決められたことを絶対に守る」ということは、このような意味があるのです。

## 2. よりよい決め事を生み出す

つぎに、期待されていることは、「よりよい決め事を生み出す」ことです。皆さんは作業をやりながら、「こうしたらもっと生産量が上がるのに・・・」、「こうしたらもっと楽に作業ができるのに・・・」と感ずることがありませんか？ 前述したように決められたことを守ったうえで、さらによりやり方、治具、工具、あるいはルールを考え出して実現することも、強い生産現場をつくるうえで重要になります。

## 3. これらを自分だけでなく、仲間と一緒に進める

そして、これらのことを一人だけでやるのではなく、皆でやってもらうことが3番目の期待です。一人の力には限界があります。‘3人寄れば文殊の知恵’という言葉もあります。そしてなによりも、仲間と一つの目的に向かって活動し、それを達成することは大きな喜びになります。皆で楽しく、喜びあいながら生産現場が強くなっていくことを、私は期待しています。

## (4) 第9回生産マイスター検定を振り返って！

### ●現場にありがちな弱点のフォロー

#### 1. 3級について

まず、3級ですが、「コスト」に関する計算問題に誤りが多いようです。特に「編成効率」、「目標サイクルタイム」、「総合パフォーマンス」、「作業パフォーマンス」、「ワークサンプリング」の計算が不得意とみられます。これらの数値はどれも現状把握や現場改善で重視するものになるため、どのように計算するのかをとおしてその数値の意味を十分理解していただきたいと思います。なお、ベーシック級よりワンランク上の内容である「原価」に関する内容も現場改善の目的やねらいを理解するうえで大変重要な項目になりますので、リーダーになったら十分理解しておいていただきたい項目の一つです。

また、今回得点が低かった「納期・生産管理」に関しては、生産計画（大日程、中日程、小日程）に関する問題がウイークポイントになっているようです。現場リーダーとして、自分の職場に指示される日々の生産計画がどのような仕組みの中で決定されているのかをよく理解し、メンバーとも共有して、皆で日々の生産納期を守っていく職場づくりをしていただけるように願っています。

#### 2. ベーシック級について

つぎにベーシック級ですが、毎回の傾向として「コスト」と「安全・環境」に関する誤りが多いようです。残念ですが、今回の第9回検定もまったく同じ傾向にありました。

「コスト」に関する問題で誤りが多いのは計算問題で、「編成ロス」、「設備の総合効率」、「材料のロス」に関する計算ができていませんでした。最近は多くの計算ソフトが便利に活用でき、計算式を入れておけば、その計算式の意味を知らなくても数値が算出されます。あるいは、スタッフ部門で、計算した結果だけを表にし

て現場に提示している場合も多くみられます。生産マイスター検定において、なぜ計算問題を重視しているかというと、その計算式にこそ、なぜその数値を把握し、管理し、改善しなければならないのか、どういう改善をするとその数値はレベルアップするのかが示されているからなのです。この点を踏まえて、現場で管理すべき数値と、その意味を十分理解していただきたいと思います。

「安全・環境」に関する問題で誤りが多いのは、用語の意味や関連する法律に関する内容です。皆さんが社会人になるまであまりなじみがない言葉や法律を覚えることなので、少し抵抗があるかもしれませんが、職場ではよく使われる言葉だと思います。また、守るべき法律なので、自身の安全、仲間の安全、そして社会への環境貢献をめざして、日々の仕事を進めていただきたいと思います。

以上